

## 平成27年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年3月3日

上場取引所 東

上場会社名 ナトコ株式会社

 コード番号 4627 URL <http://www.natoco.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 粕谷健次

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長・生産企画部長 (氏名) 山本豊

TEL 0561-32-2285

四半期報告書提出予定日 平成27年3月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年10月期第1四半期の連結業績(平成26年11月1日～平成27年1月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年10月期第1四半期	3,551	8.6	177	11.2	262	18.3	147	13.9
26年10月期第1四半期	3,271	1.3	159	△15.4	221	△8.0	129	38.0

(注) 包括利益 27年10月期第1四半期 285百万円 (18.2%) 26年10月期第1四半期 241百万円 (△41.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年10月期第1四半期	19.52	—
26年10月期第1四半期	15.88	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年10月期第1四半期	19,865	15,482	77.9
26年10月期	19,913	15,346	77.1

(参考) 自己資本 27年10月期第1四半期 15,482百万円 26年10月期 15,346百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年10月期	—	10.00	—	12.00	22.00
27年10月期	—	—	—	—	—
27年10月期(予想)	—	12.00	—	14.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年10月期の連結業績予想(平成26年11月1日～平成27年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,200	6.3	550	16.9	570	11.6	340	20.9	45.07
通期	15,800	11.3	1,550	41.5	1,600	30.8	950	28.4	125.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年10月期1Q	8,144,400 株	26年10月期	8,144,400 株
27年10月期1Q	600,920 株	26年10月期	600,920 株
27年10月期1Q	7,543,480 株	26年10月期1Q	8,143,510 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国経済においては労働市場の堅調な改善が持続しているものの、欧州経済の停滞や中国経済の減速等、依然として不透明な状況でありました。

わが国経済においては、個人消費の持ち直しや輸出の増加など民間需要が緩やかに改善したものの、力強さに欠け、先行きに不安が残る状況となっております。

このような状況のもとで、当社グループは市場ニーズを先取りした独自性のある高機能性製品や環境対応型製品の開発に注力し、新規顧客の獲得に向けた営業活動を積極的に展開いたしました。また、有限会社アイシー産業が当社グループに加わったことにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,551百万円（前年同期比8.6%増）、営業利益177百万円（前年同期比11.2%増）、経常利益262百万円（前年同期比18.3%増）、四半期純利益147百万円（前年同期比13.9%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分変更を行っており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細は、「4 四半期連結財務諸表 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等) セグメント情報」の「II 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載しております。

#### ①塗料事業

金属用塗料分野では、鋼製家具、工作機械関連を中心として需要が堅調に推移したことやユーザーの環境意識の高まりにより環境対応型塗料が伸びた結果、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。内装建材用塗料分野では、国内ユーザーにおける消費税増税後の販売不振の影響や無塗装のフローリング製品の増加による需要減により、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。外装建材用塗料分野では、消費税増税後の住宅着工件数の減少により塗料の出荷量は減ったものの、大手ユーザーへの提案内容が新商品で採用されたことで、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。

その結果、塗料事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は2,551百万円（前年同期比9.0%増）、セグメント利益は202百万円（前年同期比0.6%増）となりました。

#### ②ファインケミカル事業

化成品における電子材料向けのコーティング材の不調が続いており、売上高は前年同期に比べ大幅に減少いたしました。

その結果、ファインケミカル事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は195百万円（前年同期比33.3%減）、セグメント利益は3百万円（前年同期比88.2%減）となりました。

#### ③シンナー事業

シンナー事業におきましては、新規顧客の獲得により需要が伸びたことと有限会社アイシー産業が当社グループに加わったことにより、売上高は前年同期に比べ大幅に増加いたしました。

その結果、シンナー事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は805百万円（前年同期比26.0%増）、セグメント利益は91百万円（前年同期比61.8%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は12,958百万円となり、前連結会計年度末に比べ132百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が114百万円減少したことによるものであります。固定資産は6,906百万円となり、前連結会計年度末に比べ85百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が52百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、19,865百万円となり、前連結会計年度末に比べ47百万円減少いたしました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は3,705百万円となり、前連結会計年度末に比べ179百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が49百万円、賞与引当金が132百万円減少したことによるものであります。固定負債は677百万円となり、前連結会計年度末に比べ4百万円減少いたしました。これは主に長期借入金47百万円、役員退職慰労引当金が19百万円、繰延税金負債が22百万円減少したものの、退職給付に係る負債が84百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、4,382百万円となり、前連結会計年度末に比べ183百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は15,482百万円となり、前連結会計年度末に比べ135百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益147百万円、為替換算調整勘定117百万円の増加、剰余金の配当により90百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は77.9%（前連結会計年度末は77.1%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年10月期の連結業績予想につきましては、平成26年12月10日に公表いたしました「平成26年10月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載の業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## 会計方針の変更

## (退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を平均残存勤務期間に基づく割引率を使用する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が90百万円増加し、利益剰余金が59百万円減少しております。また、当第1四半期連結会計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,782,452	5,742,582
受取手形及び売掛金	4,991,740	4,877,658
有価証券	100,618	100,795
商品及び製品	916,551	937,426
仕掛品	31,395	34,456
原材料及び貯蔵品	409,854	447,231
繰延税金資産	107,590	48,289
その他	757,062	774,822
貸倒引当金	△5,996	△4,728
流動資産合計	13,091,269	12,958,534
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,104,562	3,141,813
機械装置及び運搬具(純額)	1,018,535	1,027,750
土地	1,713,858	1,713,858
その他(純額)	184,824	190,422
有形固定資産合計	6,021,780	6,073,844
無形固定資産	273,558	276,063
投資その他の資産		
投資有価証券	379,854	408,948
繰延税金資産	24,379	23,049
その他	125,706	128,450
貸倒引当金	△3,390	△3,381
投資その他の資産合計	526,550	557,065
固定資産合計	6,821,889	6,906,973
資産合計	19,913,158	19,865,508
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,731,325	2,737,682
1年内返済予定の長期借入金	23,231	-
未払法人税等	94,865	45,822
賞与引当金	238,264	105,889
役員賞与引当金	33,800	8,230
その他	762,771	807,550
流動負債合計	3,884,258	3,705,175
固定負債		
長期借入金	47,769	-
繰延税金負債	47,845	25,819
役員退職慰労引当金	264,426	244,677
退職給付に係る負債	135,757	220,455
その他	186,210	186,867
固定負債合計	682,008	677,820
負債合計	4,566,266	4,382,995

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年1月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,626,340	1,626,340
資本剰余金	3,316,538	3,316,538
利益剰余金	10,258,198	10,255,720
自己株式	△516,252	△516,252
株主資本合計	14,684,824	14,682,346
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	93,111	111,774
為替換算調整勘定	601,264	719,020
退職給付に係る調整累計額	△32,309	△30,627
その他の包括利益累計額合計	662,067	800,166
少数株主持分	-	-
純資産合計	15,346,892	15,482,513
負債純資産合計	19,913,158	19,865,508

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年1月31日)
売上高	3,271,277	3,551,999
売上原価	2,521,929	2,746,851
売上総利益	749,347	805,147
販売費及び一般管理費	589,483	627,373
営業利益	159,864	177,774
営業外収益		
受取利息	1,993	1,683
受取配当金	2,115	3,855
貸倒引当金戻入額	1,571	1,276
為替差益	52,776	69,789
その他	5,636	10,755
営業外収益合計	64,093	87,359
営業外費用		
支払利息	9	164
売上割引	2,494	2,758
その他	0	189
営業外費用合計	2,503	3,112
経常利益	221,454	262,021
特別利益		
固定資産売却益	—	712
負ののれん発生益	12,982	—
特別利益合計	12,982	712
特別損失		
固定資産処分損	97	16
固定資産圧縮損	—	579
特別損失合計	97	596
税金等調整前四半期純利益	234,340	262,136
法人税、住民税及び事業税	9,792	56,280
法人税等調整額	95,257	58,574
法人税等合計	105,049	114,854
少数株主損益調整前四半期純利益	129,291	147,281
少数株主利益	—	—
四半期純利益	129,291	147,281



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	129,291	147,281
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,575	18,662
為替換算調整勘定	97,548	117,755
退職給付に係る調整額	—	1,681
その他の包括利益合計	112,124	138,099
四半期包括利益	241,415	285,381
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	241,415	285,381
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年11月1日 至平成26年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	塗料事業	ファインケ ミカル事業	シンナー事 業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	2,339,808	292,242	639,225	3,271,277	—	3,271,277
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	526	—	60,632	61,158	△61,158	—
計	2,340,335	292,242	699,858	3,332,436	△61,158	3,271,277
セグメント利益	201,129	32,486	56,418	290,034	△130,170	159,864

(注) 1. セグメント利益の調整額△130,170千円には、セグメント間取引消去△819千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△129,350千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

当社は、平成25年11月1日を効力発生日とする株式交換を当社の連結子会社である巴興業株式会社と行ったことに伴い、負ののれん発生益12,982千円を特別利益に計上しております。当該負ののれん発生益は報告セグメントに配分しておりません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成26年11月1日 至平成27年1月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	塗料事業	ファインケ ミカル事業	シンナー事 業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	2,551,507	195,057	805,434	3,551,999	—	3,551,999
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	162	—	68,413	68,575	△68,575	—
計	2,551,669	195,057	873,848	3,620,574	△68,575	3,551,999
セグメント利益	202,407	3,843	91,297	297,548	△119,774	177,774

(注) 1. セグメント利益の調整額△119,774千円には、セグメント間取引消去4,869千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△124,644千円であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期会計期間より報告セグメントを従来の「塗料事業」「ファインケミカル事業」「産業廃棄物収集運搬・処分事業」から「塗料事業」「ファインケミカル事業」「シンナー事業」に変更しております。

これは、当社が有限会社アイシー産業株式を平成26年10月1日（みなし取得日を平成26年10月31日）に取得したことに伴い、当社グループの事業展開の実態を踏まえ、改めて事業セグメントについて検討した結果、量的な重要性が増したシンナーの製造・販売を「塗料事業」から分離し、リサイクルシンナーの製造との関連性が強い「産業廃棄物収集運搬・処分事業」と一体化して、「シンナー事業」として捉えることが合理的であると判断したことによるものであります。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント情報に基づき作成しております。